

## 就職みらい研究所

2016年4月14日  
株式会社リクルートキャリア

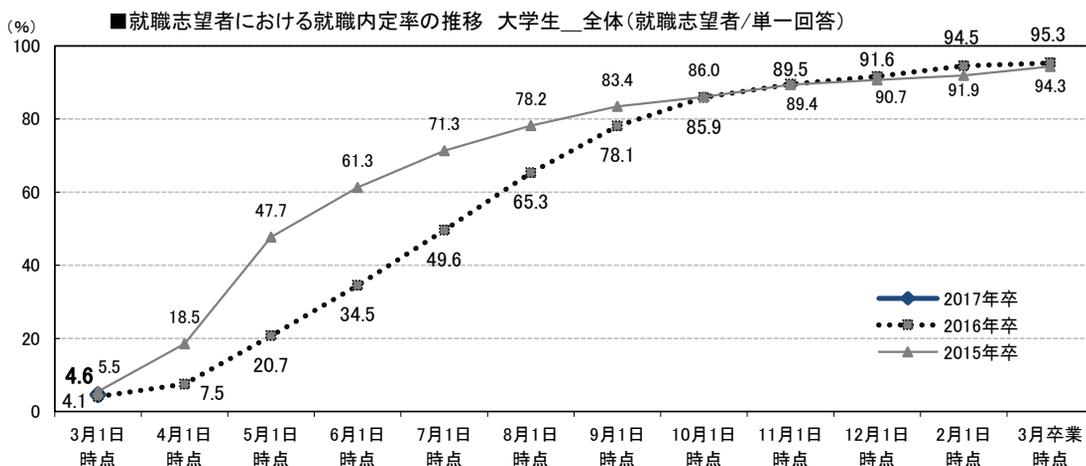
### 「2016年3月度（3月1日時点） 就職内定状況（2017年卒）」【確報版】 —【「就職活動・内定状況」と「就職活動に対する心情」について】—

株式会社リクルートキャリア(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:柳川 昌紀)のよりよい就職・採用の在り方を追求するための研究機関・就職みらい研究所(所長:岡崎 仁美)は、リクルート就職活動モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。  
このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

#### 「就職活動・内定状況」について

**3月1日時点での大学生の就職内定率(※)は4.6%**  
前年同月の4.1%に比べて0.5ポイント高い

- 3月1日時点での就職志望者のうち、就職活動実施率は95.5%と、前年同月の96.5%と比べて、1.0ポイント低かった。
- 3月1日時点での就職志望者のうち、就職内定率は4.6%と、前年同月の4.1%と比べて、0.5ポイント高かった。



※3ページの「各率の算出方法」および「用語の定義」を参照

#### 「就職活動に対する心情」について

**2月の「就職活動」に対する気持ちの“高まり度”は「5.94」で前年同様**

- 3月1日時点での就職志望者に対して、「就職活動」に対する気持ちの高まり度を「0」から「10」の11段階で聞いたところ、最も多いのは前年同様「7」となった。平均値は「5.94」で、前年と同じとなった。

**「就職活動」に対する心情の天気模様は、  
前年同様に2月の現状は「曇り」、3月の見通しは「薄日」が多い**

- 3月1日時点での就職志望者の「就職活動」に対する心情を天気であらわすと、2月は前年同様「曇り」が最も多かった。前年と比べ最も差があったものは「晴れ」で、前年より5.8ポイント高かった。
- 3月の「就職活動」に対する心情の天気見通しは、前年同様「薄日」が最も多かった。前年と比べ最も差があったものは「晴れ」で、前年より2.9ポイント高かった。

【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ宛  
Mail:kouho@waku-2.com

## 【目次】

調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2	1) 就職活動実施状況および就職内定（内々定）の状況（3月1日時点）	4
就職志望者から見た内定状況の構図・・	3	2) 就職内定（内々定）取得の見通し、	
各率の算出方法、用語の定義・・・・・・・・	3	みなし就職内定（内々定）の状況（3月1日時点）	5
		3) 「就職活動」に対する気持ちの高まり度（2月）	
		「自分自身」・・・・・・・・・・・・・・・・	6
		「周囲学生」・・・・・・・・・・・・・・・・	7
		4) 「就職活動」および「就職」に対する心情の天気模様	8
		5) 就職活動を行う上での知りたい情報	9
		【参考データ】大学院生の就職活動状況および内定状況のデータ	10

## 【調査概要】

**調査目的：**大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

**調査方法：**インターネット調査

**集計方法：**大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、**ウェイトバック集計**を行っている

## 【2017年卒：2017年卒3月度】

**調査対象：**2017年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2017』（※）にて2016年3月1日～3月22日に調査モニターを募集し、モニターに登録した学生5,421人  
（内訳：大学生4,468人/大学院生953人） \*モニターの抽出条件は下記参照

**調査期間：**2016年3月16日～3月28日

**集計対象：**大学生 1,185人/大学院生 379人

※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト <https://job.rikunabi.com/2017/>

## 【2016年卒：2016年卒3月度】

**調査対象：**『リクナビ2016』会員の大学生および大学院生から、2015年1月14日～3月11日に調査モニターを募集し、モニターに登録した2016年卒業予定の男女5,159人（内訳：大学生4,287人/大学院生872人）

**調査期間：**2015年3月13日～3月23日

**集計対象：**大学生 1,650人/大学院生 477人

## 【2015年卒：2015年卒3月度】

**調査対象：**『リクナビ2015』会員の大学生および大学院生から、2013年11月4日～11月12日、2014年1月21日～1月27日に調査モニターを募集し、モニターに登録した2015年3月卒業予定の男女7,327人（内訳：大学生5,975人/大学院生1,352人）

**調査期間：**2014年3月2日～3月10日

**集計対象：**大学生 2,521人/大学院生 776人

## 〈モニターの抽出条件〉

「卒業後の志望進路（志望する進路のすべて）」の回答状況をもとに、次の条件で対象を抽出  
（下記記載の②～④、⑥～⑨の項目および用語の定義については、3ページ参照）

**本調査対象** = 「就職意向者（就職志望者+志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

## 〈調査結果を見る際の注意点〉

○%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある

○「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」

○本資料での「前年」とは、「2016年卒」を示す

## 【就職志望者から見た内定状況の構図】

就職意向者（本調査モニター全体）

 は本資料に掲載している数値

志望進路状況

就職志望者  
(I 就職志望率)

就職以外志望者

志望進路未決定者

⑥起業 ⑦進学(国内) ⑧進学(留学) ⑨その他

①民間企業 ②公務員 ③教員 ④医師・歯科医師・看護師 ⑤「①～④」以外の組織・団体

就職志望者  
「①～⑤」を1つ以上選択  
(「⑥～⑨」のみは含まない)

就職活動状況

就職内定状況

内定あり(内定取得者)  
(Ⅲ就職内定率)みなし就職内定者  
(Ⅳみなし就職内定率)就職活動実施者  
(Ⅱ就職活動実施率)

就職活動未実施者

見込み就職内定者  
(Ⅴ見込み就職内定率)

内定なし(内定未取得者)

内々定・内定を確実に取得できる見通し

内々定・内定をある程度取得できる見通し

内々定・内定の取得の見通しは低い

まだ見通しは立っていない

## &lt;各率の算出方法&gt; 【時点：「当該月1日時点」】

I 就職志望率	=	就職志望者数 ÷ 就職意向者数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施者数 ÷ 就職志望者数
III 就職内定率	=	就職内定取得者数 ÷ 就職志望者数
IV みなし就職内定率	=	みなし就職内定者数 ÷ 就職志望者数
V 見込み就職内定率	=	見込み就職内定者数 ÷ 就職志望者数

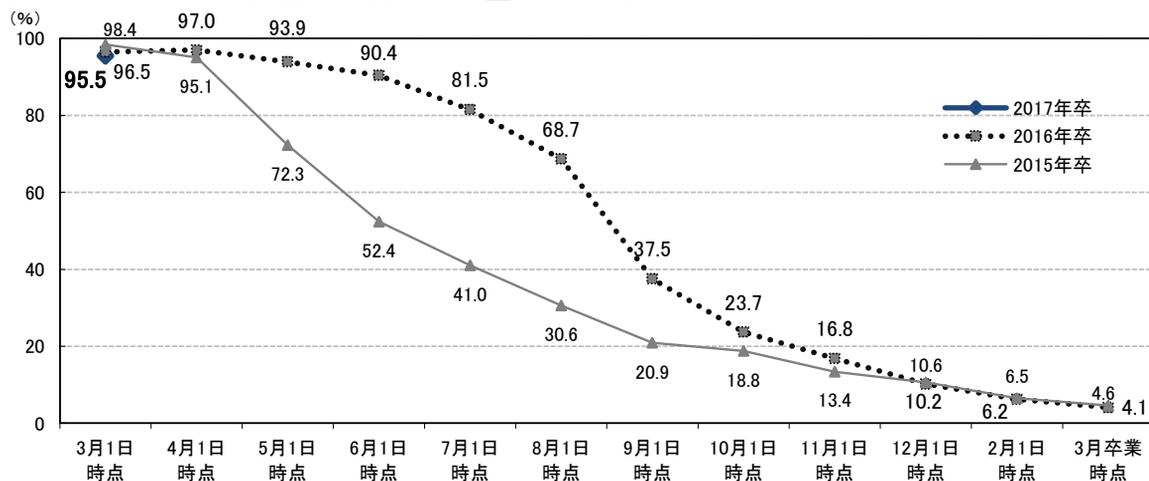
## &lt;用語の定義&gt;

- 就職意向者 = 当初(本調査モニター募集時)の志望進路が「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験のある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験がない者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者  
※ 進路確定率 = 進路確定者数 ÷ 就職意向者数
- みなし就職内定者 = 就職内定取得者、および、就職内定未取得者のうち、内定(内々定)を確実に取得できる見通しのある者
- 見込み就職内定者 = みなし就職内定者に、内定(内々定)をある程度取得できる見通しのある者

## 1) 就職活動実施状況および就職内定(内々定)の状況(3月1日時点)

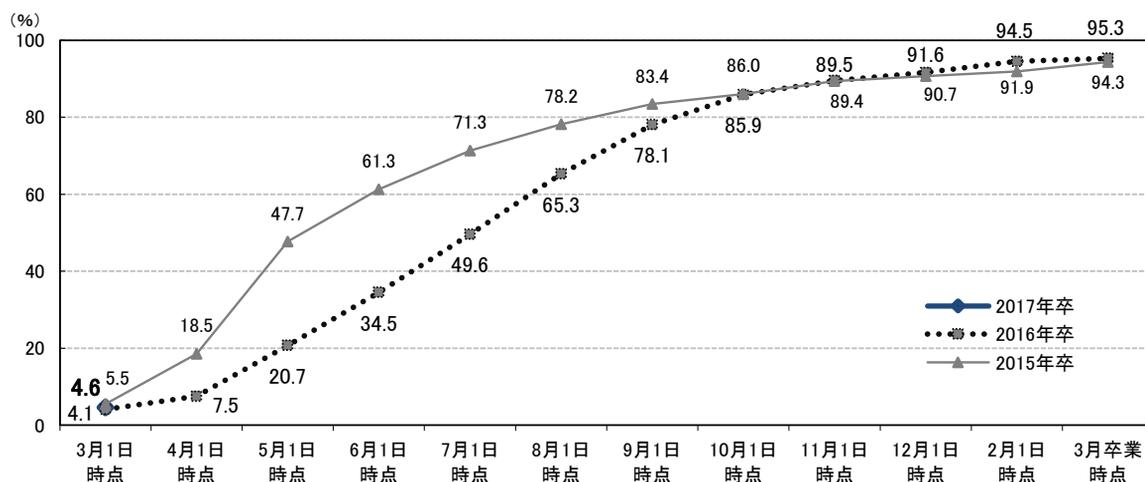
- 3月1日時点での就職志望者のうち、大学生の就職活動実施率(※)は95.5%で、前年同月の96.5%と比べて1.0ポイント低かった。
- 3月1日時点での就職志望者のうち、大学生の就職内定率(※)は4.6%で、前年同月の4.1%に比べて0.5ポイント高かった。

■就職志望者における就職活動実施率の推移 大学生\_全体(就職志望者/単一回答)



	3月1日 時点	4月1日 時点	5月1日 時点	6月1日 時点	7月1日 時点	8月1日 時点	9月1日 時点	10月1日 時点	11月1日 時点	12月1日 時点	2月1日 時点	3月卒業 時点
2017年卒	95.5%											
2016年卒	96.5%	97.0%	93.9%	90.4%	81.5%	68.7%	37.5%	23.7%	16.8%	10.2%	6.2%	4.1%
2015年卒	98.4%	95.1%	72.3%	52.4%	41.0%	30.6%	20.9%	18.8%	13.4%	10.6%	6.5%	4.6%
前回差												
前年同月差	-1.0											

■就職志望者における就職内定率の推移 大学生\_全体(就職志望者/単一回答)



	3月1日 時点	4月1日 時点	5月1日 時点	6月1日 時点	7月1日 時点	8月1日 時点	9月1日 時点	10月1日 時点	11月1日 時点	12月1日 時点	2月1日 時点	3月卒業 時点
2017年卒	4.6%											
2016年卒	4.1%	7.5%	20.7%	34.5%	49.6%	65.3%	78.1%	85.9%	89.5%	91.6%	94.5%	95.3%
2015年卒	5.5%	18.5%	47.7%	61.3%	71.3%	78.2%	83.4%	86.0%	89.4%	90.7%	91.9%	94.3%
前回差												
前年同月差	0.5											

※「就職活動実施率」および「就職内定率」の定義は、3ページをご参照ください。

## 2) 就職内定(内々定)取得の見通し、みなし就職内定(内々定)の状況(3月1日時点)

- 3月1日時点での就職志望者に対して内定状況と、未内定者の今後の内々定・内定取得の見通しを聞いたところ、「まだ見通しは立っていない」が61.8%であるが、「確実に取得できる見通し」は4.3%、「内々定・内定をある程度取得できる見通し」は19.7%であった。
- 内々定・内定を確実に取得できる見通しの者を就職内定取得者に加えて「みなし就職内定者」とし、みなし就職内定率を算出したところ、8.9%であった。また、更に「内々定・内定をある程度取得できる見通し」を加えて「見込み内定者」として見込み内定率を算出したところ、28.6%であった

## ■就職志望者における就職内定率(再掲)とみなしおよび見込みの就職内定率 大学生\_全体(就職志望者/単一回答)

&lt;2017年卒&gt;

	内定なし(未内定者)					内定率 ①	みなし 内定率 ①+②	見込み 内定率 ①+②+③
	内定あり (内定取得者) ①	内々定・内定を確 実に取得できる見 通し②	内々定・内定をある 程度取得できる 見通し③	内々定・内定の取 得の見通しは低い	まだ見通しは立っ ていない			
凡例								
3月1日時点	4.6	4.3	19.7	9.6	61.8	4.6	8.9	28.6

&lt;2016年卒&gt;

	内定なし(未内定者)					内定率 ①	みなし 内定率 ①+②	見込み 内定率 ①+②+③
	内定あり (内定取得者) ①	内々定・内定を確 実に取得できる見 通し②	内々定・内定をある 程度取得できる 見通し③	内々定・内定の取 得の見通しは低い	まだ見通しは立っ ていない			
凡例								
3月1日時点	※2016年卒はなし					4.1	—	—
4月1日時点	7.5	4.0	25.1	11.6	51.8	7.5	11.5	36.6
5月1日時点	20.7	3.4	21.7	11.8	42.4	20.7	24.1	45.9
6月1日時点	34.5	3.6	19.3	10.7	32.0	34.5	38.1	57.4
7月1日時点	49.6	2.1	10.9	9.4	28.0	49.6	51.7	62.6
8月1日時点	65.3	1.5	6.4	7.2	19.6	65.3	66.8	73.2

『みなし就職内定者』＝「内々定・内定取得者(内定あり)①」と「就職未内定者(内定なし)」のうちの「内々定・内定を確実に取得できる見通し者②」とを合算

『見込み就職内定者』＝「内々定・内定取得者(内定あり)①」と「就職未内定者(内定なし)」のうちの「内々定・内定を確実に取得できる見通し②」と「内々定・内定をある程度取得できる見通し③」とを合算

\* みなし就職内定率(みなし内定率)＝「みなし就職内定者(①+②)」÷「就職志望者」

\* 見込み就職内定率(見込み内定率)＝「見込み就職内定者(①+②+③)」÷「就職志望者」

## □みなしおよび見込み就職内定率 大学生\_文理別(就職志望者/単一回答)

	内定あり (内定取得 者)①	内定なし(未内定者)				内定率 ①	みなし 内定率 ①+②	見込み 内定率 ①+②+③
		内々定・内 定を確実に 取得できる 見通し②	内々定・内 定をある程 度取得でき る見通し③	内々定・内 定の取得の 見通しは低 い	まだ見通し は立ってい ない			
文系	5.3%	4.2%	17.6%	10.3%	62.6%	5.3%	9.5%	27.1%
理系	3.2%	4.5%	23.9%	8.3%	60.1%	3.2%	7.8%	31.7%

※「就職内定率」の定義は、3ページをご参照ください。

## 3) 「就職活動」に対する気持ちの高まり度（2月）【自分自身】

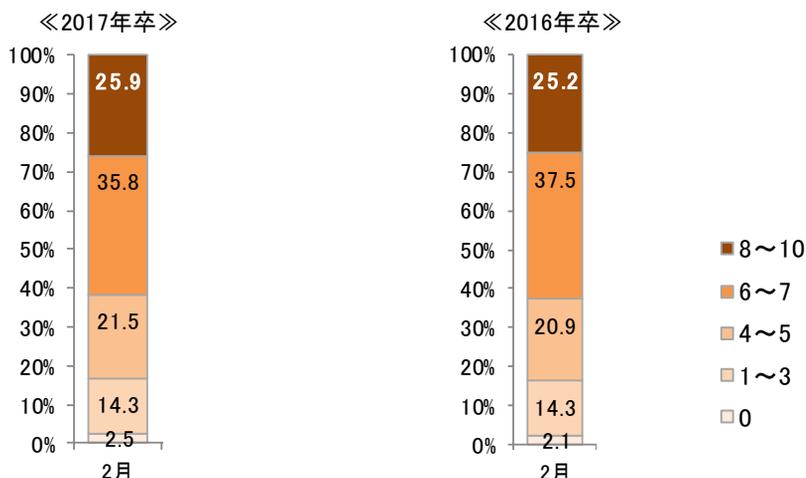
- 3月1日時点での就職志望者に対して、「就職活動」に対する気持ちの高まり度を「0」から「10」の11段階で聞いたところ、最も多いのは前年同様「7」となった。
- 平均値は「5.94」で、前年と同じであった。

## ■「就職活動」に対する気持ちの高まり度(2月)【自分自身】 大学生\_全体(就職志望者/単一回答)

□【自分自身】(「0」～「10」の11段階)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均値
2017年卒	2.5%	2.2%	4.7%	7.4%	9.7%	11.8%	16.8%	19.0%	13.3%	4.1%	8.5%	5.94
2016年卒	2.1%	2.6%	3.7%	7.9%	9.2%	11.7%	18.0%	19.4%	13.2%	5.3%	6.7%	5.94
前年同月差	0.4	-0.4	1	-0.5	0.5	0.1	-1.2	-0.4	0.1	-1.2	1.8	0.00

□【自分自身】の高まりの5分類



&lt;「気持ちの高まり度」を選んだ理由(自由回答)&gt; ※コメント内の(「 」)は、「高まり度」

## 【高まり度が「6」以上を選んだ学生】

- 土日に関係なく、毎日のように会社説明会へ足を運んでおり、就活生として精力的に動いているように感じるから。(「9」)
- 3月の就活解禁に向けて企業研究や就活に必要なものを揃えたり、就活関連の書籍を読んで面接の回答作りをしたりして準備をしていたため。(「7」)
- 春休みに入り時間に余裕ができたため、就職活動に割く時間が増えたから。また学内セミナーで企業の人と話す機会があったり、周りの就活生を見ていい意味で影響を受けてやる気が出た。(「8」)
- 学内での説明会が活発に行われるようになったことを受けて、企業をみてみようという気持ちが高まったため。(「7」)
- 多くの企業さんと接触する機会があり、ワンデーではあるが多くのインターンシップに参加できて特定の企業さんに対する理解や働くイメージを持つことができたから。(「10」)
- インターンシップに参加したり、就職情報サイトを見たりして少しずつ就職活動本番に向けて意識が高まってきたから。(「6」)
- インターンシップを通して、働くイメージをつけることができた。具体的には、働く上で必要な考え方や姿勢を学んだ。それをそのまま就職活動に転用・応用できたら、と思っている。(「10」)
- 3月から就職活動解禁なので、まだ油断していた。(「6」)

## 【高まり度が「3」以下を選んだ学生】

- 2月は就職活動がどういったものなのかあまりイメージが出来なかった。焦りはあったものの、行動しなかった。(「2」)
- 就活の解禁が迫って来ているのに、なかなかやる気が起きず大学のセミナーなどの活動以外は殆どしなかったから。(「1」)
- 2月中はほとんど就活に取り組んでおらず、インターネット等で漠然と情報収集をする程度だったから。(「0」)
- 3月から忙しくなるから、2月中にたくさん遊びたいという気持ちになったため遊んでしまった。(「1」)
- 情報解禁が来月ということもあり、まだ余裕があると考えていたから。(「3」)
- 就活に対する心構えが、まだ十分に整っていなかったからです。(「3」)
- 就職活動はまだまだ先だと考えていました。(「0」)

## 3) 「就職活動」に対する気持ちの高まり度（2月）【周囲学生】

- 3月1日時点での就職志望者に対して、自分の周囲にいる学生の「就職活動」に対する気持ちの高まり度を「0」から「10」の11段階で聞いたところ、最も多いのは前年同様「5」となった。
- 平均値は「5.68」で、前年の「5.72」より0.04ポイント低かった。

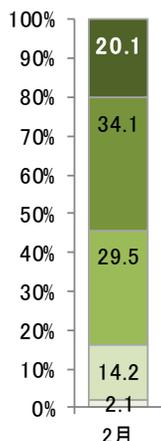
## ■「就職活動」に対する気持ちの高まり度(2月)【周囲学生】 大学生\_全体(就職志望者/単一回答)

□【周囲学生】(「0」～「10」の11段階)

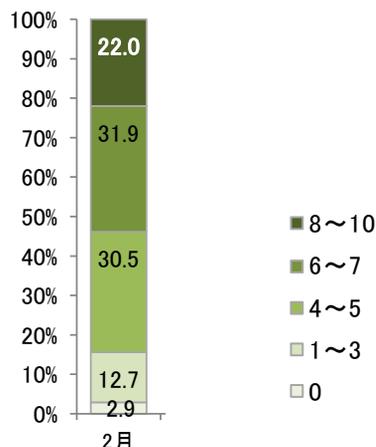
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均値
2017年卒	2.1%	1.7%	3.7%	8.8%	8.1%	21.4%	17.7%	16.4%	12.4%	4.1%	3.6%	5.68
2016年卒	2.9%	1.6%	3.9%	7.2%	8.4%	22.1%	16.4%	15.5%	12.6%	5.0%	4.3%	5.72
前年同月差	-0.8	0.1	-0.2	1.6	-0.3	-0.7	1.3	0.9	-0.2	-0.9	-0.7	-0.04

□【周囲学生】の高まりの5分類

《2017年卒》



《2016年卒》



&lt;「気持ちの高まり度」を選んだ理由(自由回答)&gt;

※コメント内の(「 」)は、「高まり度」

## 【周囲の高まり度が「6」以上を選んだ学生】

- 合同企業説明会に参加する予定の学生がたくさんいたし、学内セミナーにもたくさんの学生が参加していたから。(「10」)
- キャリアセンターに行くとき毎日通っている子がいたり、スーツ姿の人を見るたびに意識が高いと思う。(「9」)
- 表面上では「何すればいいかわからない」「就活やる気無い」「まだ何も手をつけていない」と言うが、実際はインターンに行ったり自己分析、企業研究を熱心にやっている。(「9」)
- 周りのゼミ生が、ゼミナールでの用事を断ることが多くなった。(「8」)
- エントリーシートの添削で行列になっていたり、説明会の質問の内容が具体的にってきたから。(「9」)
- ツライと言いつつも、きちんと説明会に行き、選考も通っている。(「7」)
- グループディスカッションや面接などをすでに受けていた人もいる。他の子達もインターンシップに参加したりして、スーツ姿をよく見かけた。(「8」)
- 就職にそろそろ向き合わなくては、という姿勢が多く感じた。また、何をすればいいのかが具体的に理解してない人が多いように感じた。(「6」)
- 3月が近づいてきたため、周りは準備をしっかりと始めたと感じたから。(「8」)

## 【周囲の高まり度が「3」以下を選んだ学生】

- 地方だからなのかはわからないが就活を行っている友達はいなかったため。3月の合同説明会などに行って初めて、私を含め周りの友達も就活に対する気持ちが高まったことがわかった。(「0」)
- 学内の就職セミナーや企業説明会に参加することもなく、エントリー開始後の合同説明会がいつ行われるか日程も知らない状態だったから。(「3」)
- みんな旅行に行ったりして最後の休暇を楽しんでいました。(「2」)
- 期末テストが2月中旬までであったため、なかなか就活のことまで手を回すのが難しい状況であったから。(「3」)
- 大学内のセミナーに参加する人が想像より少なかったから。(「3」)
- インターンに行ってる子は数人いたけど、みんな何もしてなかった。(「0」)
- 実習で忙しく、就職活動をしている雰囲気になかったため。(「2」)

## 4) 「就職活動」および「就職」に対する心情の天気模様

- 3月1日時点での就職志望者の「就職活動」に対する心情を天気であらわすと、2月は前年同様「曇り」が最も多かった。前年と比べ最も差があったものは「晴れ」で、前年より5.8ポイント高かった。
- 3月の「就職活動」に対する心情の天気見通しは、前年同様「薄日」が最も多かった。前年と比べ最も差があったものは「晴れ」で、前年より2.9ポイント高かった。
- 「就職活動」と同様に、「就職」に対する気持ちを天気であらわすと、2月は前年同様「曇り」が最も多かった。前年と比べ最も差があったものは「晴れ」で、前年より2.2ポイント高かった。

## ■「就職活動」に対する心情の天気模様\_2月の現状および3月の見通し\_大学生\_全体(就職志望者/単一回答)

		快晴	晴れ	薄日	曇り	小雨	大雨
2月現状	2017年卒	3.2%	21.5%	28.5%	31.3%	8.9%	6.5%
	2016年卒	3.1%	15.7%	31.7%	32.7%	10.0%	6.8%
	前年同月差	0.1	5.8	-3.2	-1.4	-1.1	-0.3
3月見通し	2017年卒	6.9%	23.4%	29.6%	23.2%	10.9%	6.0%
	2016年卒	5.8%	20.5%	32.2%	25.1%	9.0%	7.5%
	前年同月差	1.1	2.9	-2.6	-1.9	1.9	-1.5

<「就職活動」の総合天気>  
2017年卒

2月現状	3月見通し

※『総合天気』については、「就職活動」または、「就職」に対する天気をもとに、加重平均を算出。その数値をもとに天気を判断している。

## ■「就職」に対する心情の天気模様\_2月の現状\_大学生\_全体(就職志望者/単一回答)

		快晴	晴れ	薄日	曇り	小雨	大雨
2月現状	2017年卒	4.1%	23.5%	27.2%	28.6%	10.3%	6.2%
	2016年卒	5.5%	21.3%	27.1%	29.8%	10.0%	6.4%
	前年同月差	-1.4	2.2	0.1	-1.2	0.3	-0.2

<「就職」の総合天気>  
2017年卒

2月現状

## &lt;3月の天気を選んだ理由(自由回答)&gt;

※コメント内の( )は、「2月」→「3月」のそれぞれ天気

## 【天気が2月よりも良くなっている学生】

- 現在既に面接に進めている企業もいくつかあり、不安が少し拭えてきたから。(「曇り」→「薄日」)
- だいたいどの業界のどの会社を受けるのか明確になってきてそれに向けて頑張るだけなのでモヤモヤ感がなくなった。(「薄日」→「晴れ」)
- 3月より能動的に就職活動を行っているため不安がだいぶ緩和されているように思います。また、就職活動の中でコミュニケーション能力が上がっている実感もあるためこれまでよりも自分への自信が増加しているためかと思っています。(「薄日」→「晴れ」)
- なりたい自分、やりたい仕事、行きたい企業が少しずつ見えてきて、自己分析が進んだから。しかし面接などはまだまだこれからでどうなるかは全くわからないため晴れではない。(「大雨」→「薄日」)
- 様々な企業の会社説明会を聞き、少しは働くことに対するイメージができるのではないかなと思うから。(「小雨」→「薄日」)
- 就活に対して、ただ逃げたいという思いしかなかったが、それが和らいだ。また、自分が今何をすべきか分かってきたから。(「大雨」→「薄日」)

## 【天気が2月よりも悪くなっている学生】

- 選考に上手く臨める気がしないため。面接が苦手であり、筆記試験対策が間に合っておらず、上手くいっている気がしないから。(「快晴」→「曇り」)
- 学校の講義や卒業研究もある中で、エントリーシートや、面接、説明会をこなして行くことがとても大変なのではないかという不安からである。(「薄日」→「小雨」)
- 面接も始まり、自分が考えているよりも遥かに厳しい日々が待っているのではないかと考えたため。(「晴れ」→「曇り」)
- 生活リズムを崩して説明会やセミナーを無断欠席してしまった。さらに電話対応が怖く謝罪の電話もかけられなかった。それゆえ、勤勉に働ける自信がない。(「薄日」→「小雨」)
- 就職できるかどうか、とても不安。出遅れたのをとても感じている。(「薄日」→「大雨」)
- 公務員志望にとっては、試験直前期にさしかかり、今以上に不安や焦りが出ていると思われる。(「薄日」→「曇り」)

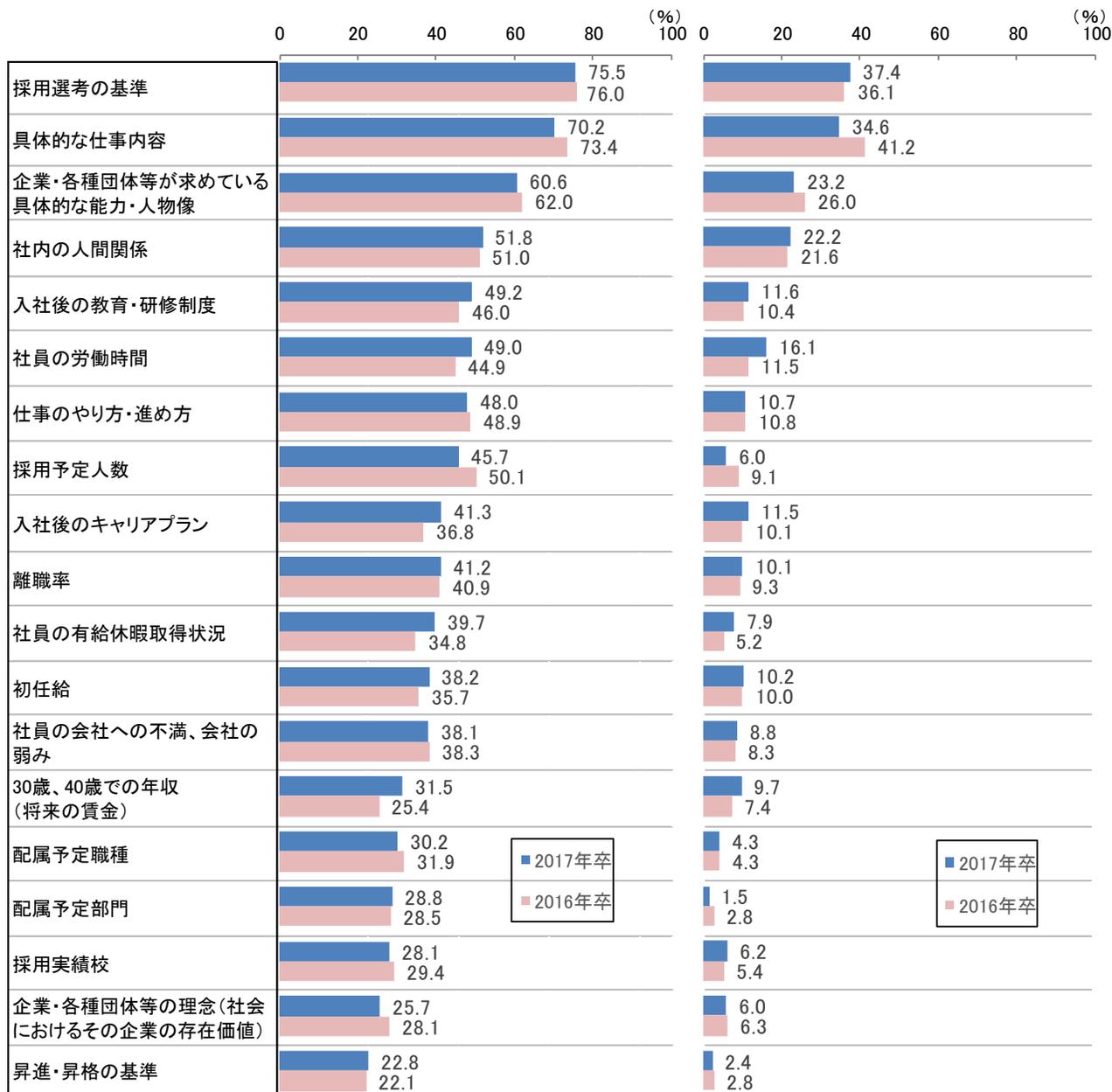
## 5) 就職活動を行う上での知りたい情報

- 大学生が就職活動を行う上での『知りたい情報』の上位項目を見ると、「採用選考の基準」75.5%、「具体的な仕事内容」70.2%、「企業・各種団体等が求めている具体的な能力・人物像」60.6%、「社内の人間関係」51.8%であり、順位は前年と同じであった。
- 『特に知りたい情報』の上位項目を見ると、順位は『知りたい情報』と同様であった。

## ■就職活動を行う上での知りたい情報(3月1日時点)大学生\_全体（就職志望者）

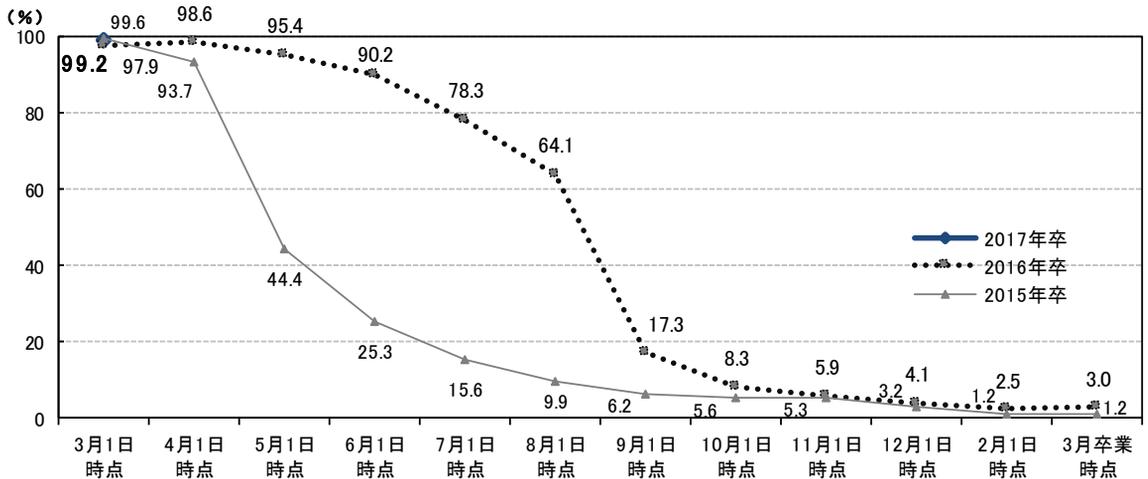
&lt;知りたい情報／複数回答&gt;

&lt;特に知りたい情報／3つまで&gt;



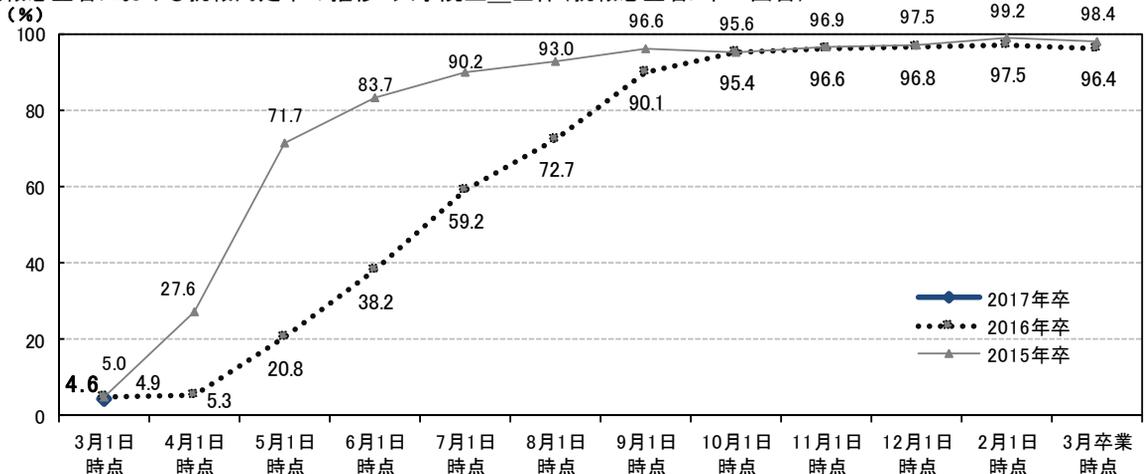
【参考データ】大学院生の就職活動状況および内定状況のデータ

□就職志望者における就職活動実施率の推移 大学院生\_全体(就職志望者/単一回答)



		3月1日 時点	4月1日 時点	5月1日 時点	6月1日 時点	7月1日 時点	8月1日 時点	9月1日 時点	10月1日 時点	11月1日 時点	12月1日 時点	2月1日 時点	3月卒業 時点
全体	2017年卒	99.2%											
	2016年卒	97.9%	98.6%	95.4%	90.2%	78.3%	64.1%	17.3%	8.3%	5.9%	4.1%	2.5%	3.0%
	2015年卒	99.6%	93.7%	44.4%	25.3%	15.6%	9.9%	6.2%	5.6%	5.3%	3.2%	1.2%	1.2%
	前回差												
	前年同月差	1.3											
理系	2017年卒	99.1%											
	2016年卒	98.2%	98.8%	95.9%	90.1%	77.9%	63.6%	15.9%	6.9%	4.4%	2.2%	1.6%	1.8%
	2015年卒	99.7%	93.4%	43.4%	23.4%	14.0%	8.1%	5.5%	4.7%	4.7%	2.8%	1.0%	1.0%
	前回差												
	前年同月差	0.9											

□就職志望者における就職内定率の推移 大学院生\_全体(就職志望者/単一回答)



		3月1日 時点	4月1日 時点	5月1日 時点	6月1日 時点	7月1日 時点	8月1日 時点	9月1日 時点	10月1日 時点	11月1日 時点	12月1日 時点	2月1日 時点	3月卒業 時点
全体	2017年卒	4.6%											
	2016年卒	4.9%	5.3%	20.8%	38.2%	59.2%	72.7%	90.1%	95.4%	96.6%	96.8%	97.5%	96.4%
	2015年卒	5.0%	27.6%	71.7%	83.7%	90.2%	93.0%	96.6%	95.6%	96.9%	97.5%	99.2%	98.4%
	前回差												
	前年同月差	-0.3											
理系	2017年卒	4.3%											
	2016年卒	5.0%	5.5%	21.2%	37.9%	59.3%	73.5%	90.6%	96.8%	98.1%	98.5%	98.1%	97.1%
	2015年卒	4.8%	28.0%	72.6%	84.8%	91.4%	94.2%	97.4%	96.3%	97.8%	98.2%	99.2%	98.5%
	前回差												
	前年同月差	-0.7											